



やくわり②治水：F 洪水調節

- ・河川が氾濫するような大きな出水（以下、「洪水」という。）を上流のダムで貯めて、河川の氾濫を防止します。
- ・洪水に対して、河道とダムでそれぞれの役割を分担しています。

	
<p>ダムがない場合 上流からの洪水がそのまま下流に流れ、下流域において氾濫などによる被害が発生する恐れがある。</p>	<p>ダムがある場合 上流からの洪水の一部をダムに貯め込んで、下流に流れる水量を低減させて、下流の河道で氾濫が起きないようにしている。</p>

F : Flood Control

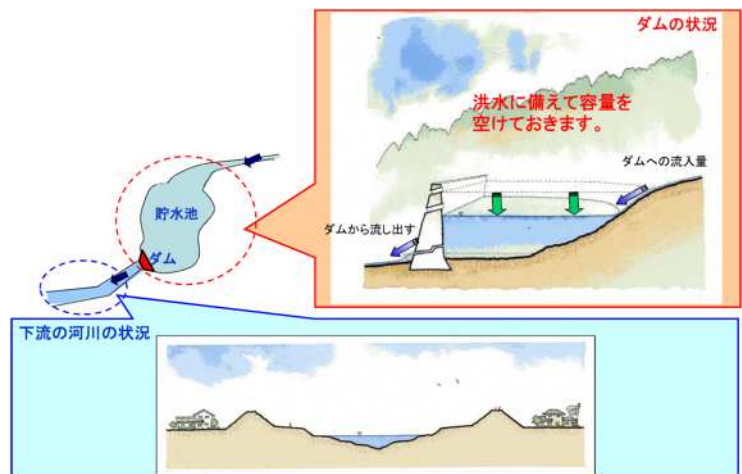
※ 本コンテンツは、「ダム事前放流・緊急放流について」（国土交通省）

（[https://www.hrr.mlit.go.jp/river/media/02-7_siryouisiki_R4\(niigata\)/04-04_siryou4\(R4.6\).pdf](https://www.hrr.mlit.go.jp/river/media/02-7_siryouisiki_R4(niigata)/04-04_siryou4(R4.6).pdf)）を加工して作成しています。

ダムによる防災操作

①洪水に備える（予備放流、事前放流）

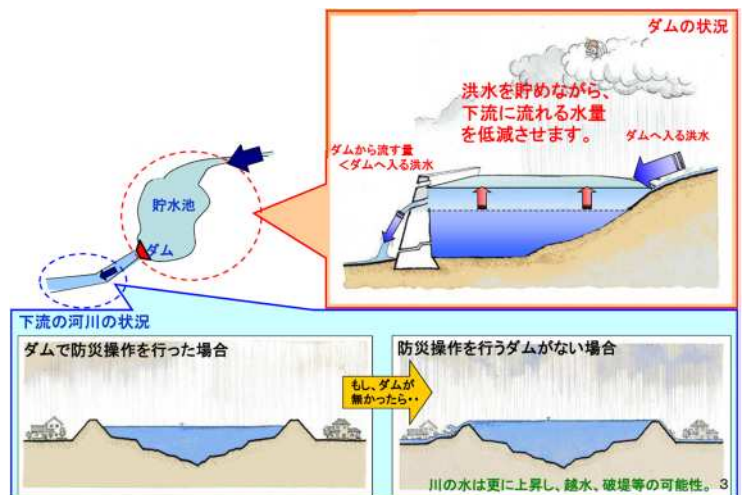
洪水に備えて、台風や大雨による洪水の起きやすい季節には、前もって貯水位を下げて容量を確保しておき、洪水の水をダム貯水池にためるための準備をします。



②洪水を貯め込む（防災操作）

大雨が降り洪水になると、ダムへ流入する洪水の一部をダムへ貯め込んで、下流に流れる水量を低減させる操作を行います。

※ 計画規模を超える洪水により貯水池の限界（満杯）に近づいた場合は、異常洪水時防災操作【緊急放流】に移行します。



③次の洪水に備える

大雨が止んで洪水が過ぎ去ると、ダムへ流れ込む水量も小さくなります。

貯水池は、洪水を貯めた分だけ水が増えているので、次の洪水に備えて、下流の河川の状況を見ながら、貯めた水を流して貯水池の容量を空けます。

